

# サマーII 雨戸サッシ引違い窓〔半外付型〕 204 取付け説明書

●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。 ※内は、ロットNo.表示位置を示します。

## ■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ▲注意

- 本製品は複層ガラスを使用するため、重量が最大で80kgになります。重量に見合った人数で作業してください。思わぬケガをするおそれがあります。
- 障子落下の原因になるおそれがありますので、下記事項を厳守してください。
  - ・本製品はかなりの重量があるため、必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱で、必ず開口部を作ってください。
  - ・必ず指定のスクリーナ釘・木ねじで枠を固定した後、障子を建て込んでください。
  - ・開口部を付け枠等でふかす場合は、一体物と同じ強度になるように取り付けてください。
  - ・側板ブラケットは、柱などの構造材または補強した個所に取り付けてください。
  - ・取付けねじは、必ず締め付けてください。
  - ・障子の建込み・建付け調整後、必ず外れ止めを上げてください。
- 漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
  - ・テラス(W2000以上)に付いている下枠補強ブラケットは、障子重量を支える重要な部品です。必ず指定のねじで締め付けてください。下枠が垂れ下がるおそれがあります。
  - ・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。(本文中の図参照)
  - ・テラス(W2000以上)の場合は、外壁材取付け後、下枠補強ブラケットとの間にコーキング材を充てんしてください。
  - ・鏡板戸袋タイプの場合は、組立て後、戸袋屋根・戸袋皿板・戸袋側上部ジョイントブロックの指定個所に、必ずコーキング材を充てんしてください。(組立て説明書参照)
  - ・外壁材の上から側板ブラケットを取り付ける場合は、φ3.3以下のドリルで下穴をあけ、コーキング材を充てんしてから木ねじで固定してください。(最大壁厚40mm)

## ■取付け上のお願

●戸袋の仮止め後、必ず戸袋皿板の水平を出してから固定してください。

## ■取付けねじ一覧表

					
スクリーナ釘φ2.1×25	丸木ねじφ3.8×38	皿木ねじφ3.5×20 (アングル部)	バインドタッピンねじ φ4×35	スクリーナ釘φ2.1×32	ワッシャー付き丸木ねじ (テラス(W2000以上)のみ)

## ■取付け順序

### 【鏡板戸袋タイプ】

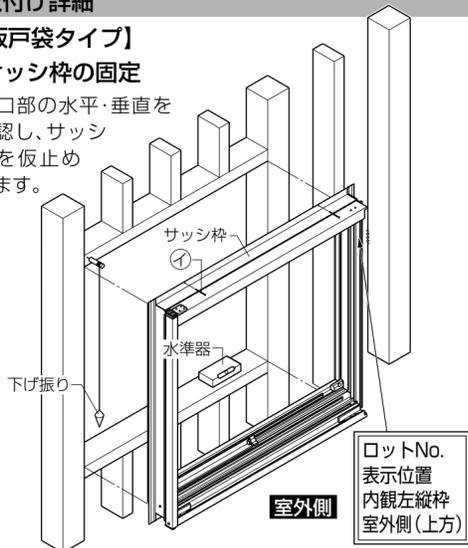
#### 1 サッシ枠の固定

## ■取付け詳細

### 【鏡板戸袋タイプ】

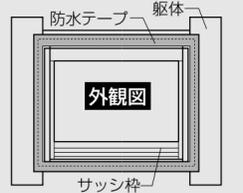
#### 1 サッシ枠の固定

①開口部の水平・垂直を確認し、サッシ枠を仮止めます。



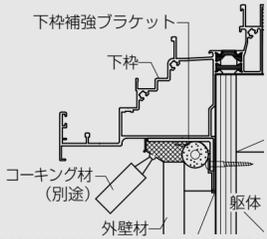
### ▲注意

●本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。



### ▲注意

●テラス(W2000以上)の場合は、外壁材取付け後、下枠補強ブラケットとの間にコーキング材を充てんしてください。漏水の原因になるおそれがあります。

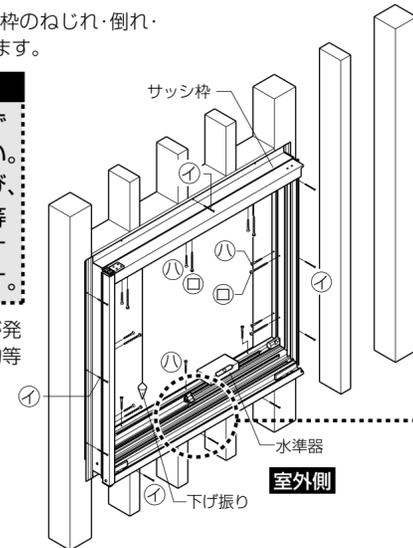


②下げ振り・水準器でサッシ枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、固定します。

### ▲注意

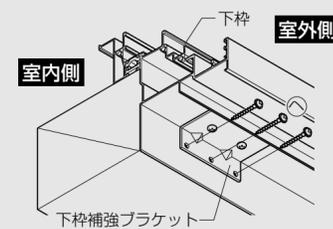
●取付けねじは必ず締め付けてください。下枠が外側にこぼれ、障子が脱落する等の不具合が発生することがあります。

※躯体と下枠の間にすき間が発生した場合は、必ずかき物等で調整してください。



### ▲注意

※テラス(W2000以上)に付いている下枠補強ブラケットは、障子重量を支える重要な部品です。土台などの構造材に必ず指定のねじで締め付けてください。下枠が垂れ下がるおそれがあります。 ※窓およびテラス(W2000未満)の場合は、下枠補強ブラケットは付いていません。



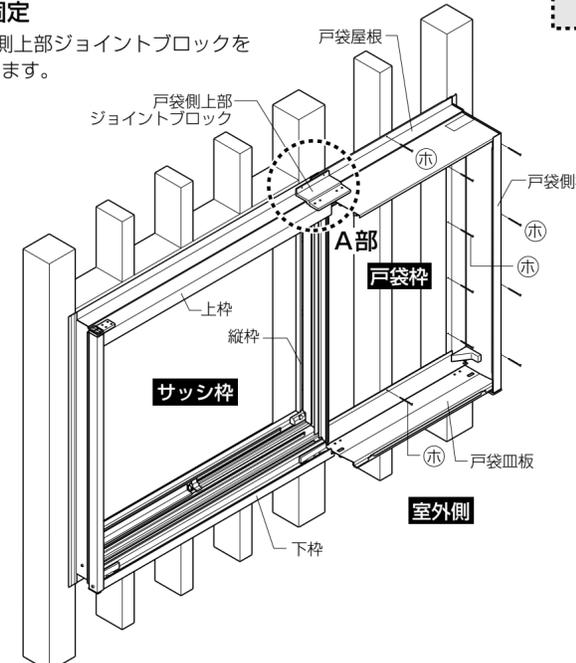
## 2 サッシ枠と戸袋枠の連結

※組立て説明書を参照してください

## 3 戸袋枠の固定

### 3 戸袋枠の固定

●戸袋枠・戸袋側上部ジョイントブロックを躯体に固定します。



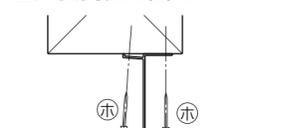
### ■戸袋屋根の固定



### ■戸袋皿板の固定

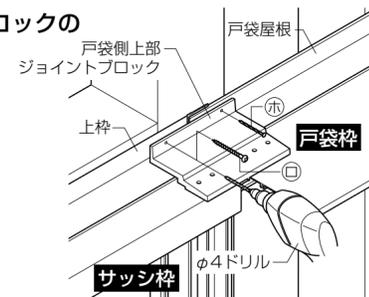


### ■戸袋側板の固定



### ■戸袋側上部ジョイントブロックの固定(A部詳細図)

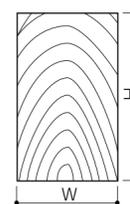
※サッシ枠側はφ4のドリルで戸袋側上部ジョイントブロックの下穴を広げてください。



## 4 内張り耐水ベニヤの取付け

### 4 内張り耐水ベニヤの取付け

①表の寸法に従って切断し、戸袋枠内部の躯体に釘で固定します。



### ■204テラス

呼称	H寸法
18A	1,844
20A	2,044
22A	2,244

### ■204単純段差

呼称	H寸法
18B	1,887
20B	2,087
22B	2,287

### ■半外付

呼称	H寸法
07	784
09	984
11	1,184
13	1,384
15	1,584
18	1,884
20	2,084
22	2,284

### ■半外付、204

呼称	W寸法
063	620
066	655
073	720
083	825
089	885
094	935
099	980
102	1,010

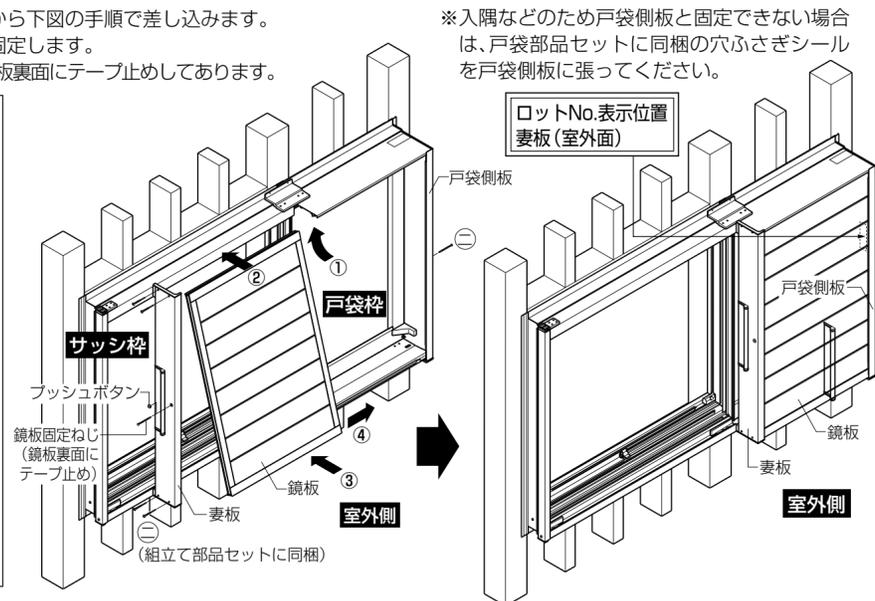
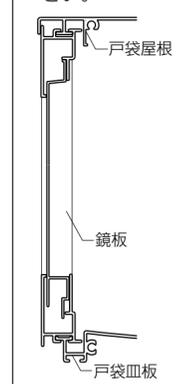
5 鏡板・妻板の取付け

5 鏡板・妻板の取付け

- ①鏡板をサッシ枠から下図の手順で差し込みます。
  - ②妻板・戸袋側板と固定します。
- ※鏡板固定ねじは、鏡板裏面にテープ止めてあります。

■鏡板の差込み

※上枠側から先に入れてください。



※入隅などのため戸袋側板と固定できない場合は、戸袋部品セットに同梱の穴ふさぎシールを戸袋側板に張ってください。

【鏡板なしタイプ】

1 サッシ枠・戸袋枠の固定

2 左縦枠カバーの取付け

6 障子の建込み

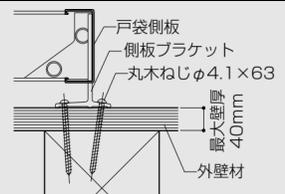
【鏡板なしタイプ】

1 サッシ枠・戸袋枠の固定

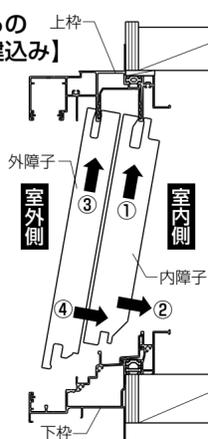
●枠を取付け面に当てて側板ブラケットの出幅を調整します。側板ブラケットを躯体に固定し、枠を仮止めます。下枠の水平を出した後固定します。

▲注意

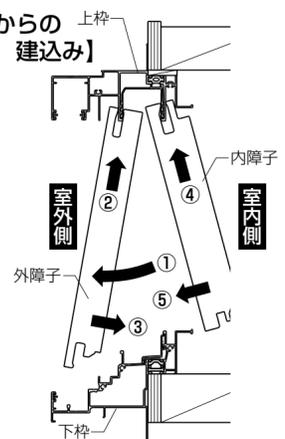
- 側板ブラケットは、柱などの構造材または補強した個所に取り付けてください。
- 外壁材の上から側板ブラケットを取り付ける場合は、φ3.3以下のドリルで下穴をあけ、シーリング材を充てんしてから木ねじで固定してください。(最大壁厚40mm)



【室外側からの建込み】



【室内側からの建込み】



■雨戸の建付けと締め受けの調整

■雨戸の建付け調整

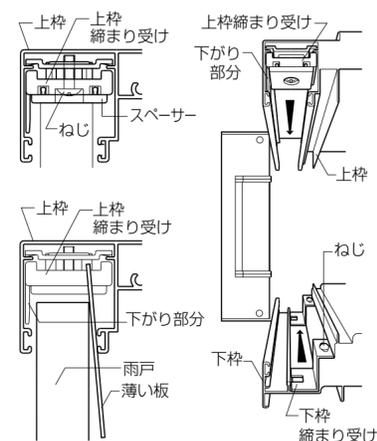
●雨戸の戸車で建付け調整をします。雨戸が締め受けに当たる場合は、スペーサーをスライドして外します。

■上枠締め受けの調整

- ①上枠締め受けを止めているねじをゆるめ、移動できるようにしておきます。
- ②雨戸をすべて閉め、締まりのロッドを上げます。
- ③直尺などの薄い板を雨戸と上枠の透き間から差し込み、上枠締め受けをロッドに当たるまで移動させます。
- ④締まりのロッドを下げ、雨戸をあげます。上枠締め受けの位置をずらさないよう下がり部分(右図参照)を指で押さえ、ねじをかるく締めます。
- ⑤締まりのロッドのかかり具合を確認した後、ねじをしっかり締めます。

■下枠締め受けの調整

下枠締め受けの穴にロッド位置がくるよう、ねじをゆるめて調整した後固定します。



■雨戸外れ止めの調整

雨戸外れ止めが右図の位置になるよう、ねじをゆるめて調整した後固定します。 ※雨戸外れ止めは、締め受けと共通部品です。

(雨戸2枚建て)

(雨戸3枚建て)

(雨戸4枚建て)



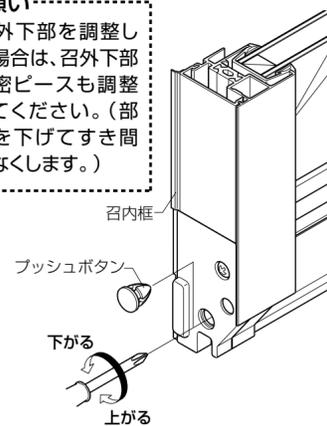
■サッシの建付け調整

■戸車調整

- プッシュボタンをいったん外して調整します。(調整後は、プッシュボタンを押し込んでください。)
- ※出荷時、障子は下がった状態にしています。それ以上は下がりませんので、上げた場合のみ戸車調整してください。

■お願い

※召外下部を調整した場合は、召外下部気密ピースも調整してください。(部品を下げてすき間をなくします。)



■クレセント調整

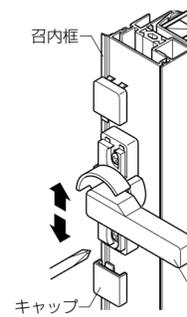
【上下方向の調整】(クレセント本体)

- ①マイナスドライバーでキャップを外します。
  - ②プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント本体を上下に動かします。
- ※調整後はしっかりねじを締めて、キャップをしてください。

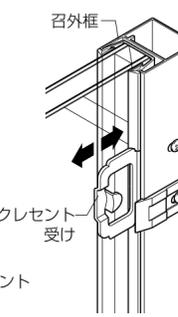
【左右方向の調整】(クレセント受け)

- プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント受けを左右に動かします。
- ※調整後はしっかりねじを締めてください。

【上下方向の調整】



【左右方向の調整】

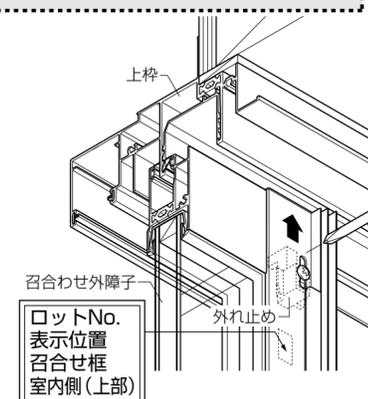


■外れ止め調整

- プラスドライバーでねじをゆるめて外れ止めを上げます。
- ※調整後はしっかりねじを締めてください。

▲注意

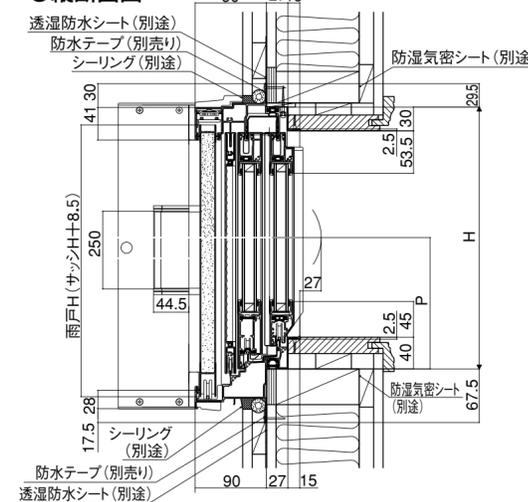
●必ず外れ止め調整ねじを上げてください。障子が落下するおそれがあります。



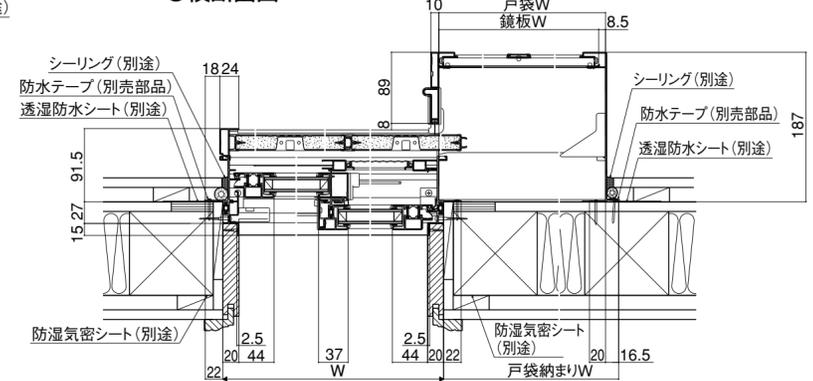
■参考納まり図

【窓タイプ】 ※本図はアングル付き(在来工法)を示します。

●縦断面図

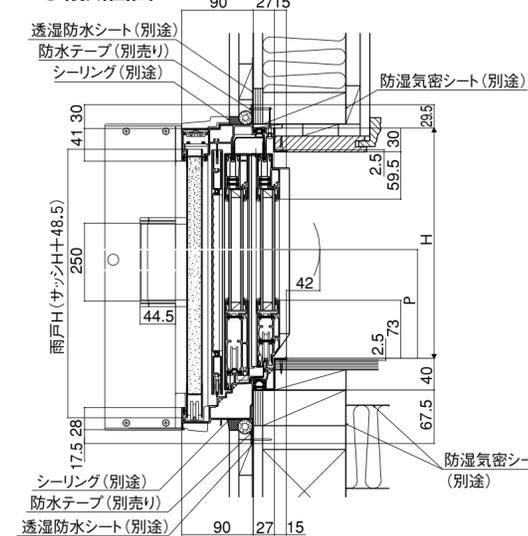


●横断面図



【テラスタイプ】

●縦断面図



●横断面図

